

学会だより

◇ 常任幹事会記録

開催日：平成 16 年 8 月 7 日

場所：東京大学農学部

出席者：会長 喜多村啓介，副会長 谷坂隆俊，吉田薫，金澤章，渡邊和男，大澤良，高野哲夫，堤伸浩，高畑義人，富田因則，門脇光一，佐藤裕，奥本裕，川上直人，熊丸敏博

各常任幹事からの経過報告後，論文賞に関する内規の整備，大会運営資金，筑波大会における発表形式と SABRAO との共同開催，一部の地方自治体による遺伝子組換え作物の栽培規制の動きへの対応，会計中間報告，中西印刷との契約一部変更，シンポジウム運営方法，地域幹事の役割，学会ホームページの改正などについて討議した。

◇ 幹事会

開催日：平成 16 年 9 月 20 日

会 場：三重大学生物資源科学部

出席者：会長 喜多村啓介，副会長 谷坂隆俊，吉田薫，金澤章，渡邊和男，大澤良，村井耕二，高野哲夫，堤伸浩，高畑義人，門脇光一，佐藤裕，根本博，勝田真澄，森川利信，奥本裕，川上直人，熊丸敏博，新発田修治，三上哲夫，阿部利徳，石川隆二，西尾剛，原田久也，平野久，平野博之，藤村達人，松浦誠司，丸橋亘，三位正洋，山元皓二，北野英己，倉田のり，神山康夫，上島脩志，山田利昭，武田真，前川雅彦，村田達郎

1. 日本学術会議会員から

議事に先立って，平井篤志日本学術会議会員より日本学術会議法改正の概要に関する説明があり，これをふまえて育種学を含む研究分野に関する意見交換を行った。

2. 各常任幹事経過報告

(1) 幹事の交代，会員数 (2004 年 9 月の時点で 2460 名)，中西印刷との契約一部変更 (本部会計資料作成，雑誌表紙のカラー化)，他の団体との共催・協賛・後援，意見書提出を含む地方自治体による遺伝子組換え作物の栽培規制への対応，学会に対する賞の候補者推薦依頼への対応，論文賞賞状について報告がなされた。

(2) 2004 年春季大会 (東京大学) での参加者は 707 名，講演総数は 318 題 (内取り消し 4 題)，秋季大会 (三重大学) での講演総数は 327 題 (内取り消し 3 題) であること，次大会は 2005 年春季・秋季合同大会として筑波大学 (委員長：藤村達人氏) において 8 月 19～22 日の日程で行われる予定であることが報告された。なお，

秋季大会の参加者は後の集計で 644 名であった。

- (3) 科学研究費 (研究成果公開促進費) の採択状況，ならびに，農学会のシンポジウム統一テーマとして遺伝子組換え作物に関するテーマが採択された旨が報告された。
- (4) 英文・和文の雑誌発行，編集，論文の審査ならびに投稿の状況が報告された。Online Journal への海外からのアクセスの増加，インパクトファクターの上昇の報告がなされた。イネゲノムの特集を企画する提案があり，検討を行った。
- (5) 地域活動の活性化に向けた計画ならびに講演会前の記者レク等の活動状況，活動費の予算化について報告がなされた。
- (6) ホームページの改訂について，更新情報 (新着情報)，公募情報，資料室，学会誌案内，講演会，地域活動の各項目に関して，改訂した内容が報告された。

3. 議事

- (1) 平成 16 年度日本育種学会賞の選定：学会賞選考委員会および幹事会の議を経て次の 2 件を選定した。
 - ・佐野芳雄 (北海道大学大学院農学研究科)：栽培イネおよび近縁野生種における生殖隔離と適応的分化の研究
 - ・宮崎県水稻育種グループ (代表者：小八重雅裕)：九州における良食味品種「ヒノヒカリ」，「ほほえみ」，「かりの舞」，「あきげしき」の育成
- (2) 平成 16 年度日本育種学会奨励賞の選定：学会賞選考委員会および幹事会の議を経て次の 2 件を選定した。
 - ・片山健二 (農業・生物系特定産業技術研究機構九州沖縄農業研究センター)：サツマイモにおけるデンブ特性の変異に関する育種学的研究
 - ・田中淳一 (独立行政法人農業技術研究機構野菜茶業研究所)：DNA マーカーのチャ育種への利用に関する研究
- (3) 平成 17 年度日本農学賞候補者の選定：学会賞選考委員会および幹事会の議を経て次の 1 件を選定した。
 - ・岩永勝 (国際トウモロコシ・コムギ改良センター)：国際農業における植物遺伝資源の利用促進，特に持続的農業支援のための遺伝育種研究への貢献
- (4) 日本育種学会運営内規の改正
「学会賞等選考委員会に関する事項」ならびに「日本育種学会論文賞の選考に関する事項」において，論文賞選考に関する任務，委員の補充委員との交代と復帰に関する改正案が提案され，承認された。
- (5) 2005 年筑波大会，SABRAO との共同開催について
 - 1) 大会プログラム案，2) シンポジウム形式，3) ポスター発表の導入の提案があり，承認された。参加申し

込みの日程, SABRAO との共同開催に関する措置に関する提案があり, 承認された。

(6) 平成 18 年度春季大会について

同大会が東京農工大で開催されることが承認された。

(7) 平成 17 年度予算案について

平成 15 年度の決算額に基づいて作成した平成 17 年度予算案(暫定版)が示され, 承認された。なお, 平成 16 年度の決算を考慮した上で, 筑波大学における総会で平成 17 年度予算案が提案される。

(8) 一部の地方自治体による遺伝子組換え作物の栽培規制の問題について

北海道における栽培規制の状況ならびに条例化に向けた検討の過程についての報告があった。滋賀県, 岩手県での状況, 他学会との連携について報告があった。また, この問題の法的な側面についての議論を行った。

4. 関連報告

(1) 植物育種学辞典委員会: 辞典の発行に向けての進捗状況が報告された。

(2) 日本学術会議遺伝資源研究連絡委員会: 今年度の活動状況とシンポジウムの開催予定が報告された。

集会の案内

◇ 資源生物科学研究所 90 周年記念第 21 回資源生物科学シンポジウム「比較生物学に基づくポストゲノムの展開」—機能性の解明と生物多様性の分化—

岡山大学資源生物科学研究所では以下の要領でシンポジウムを開催致します。

日時: 平成 16 年 12 月 18 日(土) 9:20-16:40

場所: 倉敷市立美術館講堂 倉敷市中央 2 丁目 6-1 (山陽本線倉敷駅より南へ徒歩約 10 分) TEL: 086-425-6034

参加費: 無料 詳細は <http://www.rib.okayama-u.ac.jp/sympo/> をご覧下さい。

研究助成公募の案内

◇ (財) ソルト・サイエンス研究財団 平成 17 年度研究助成の公募

助成(農学分野)の対象: <プロジェクト研究> 課題: 好塩性生物の研究—基礎と応用, 副題: (1) 海浜生物, 海洋生物, 海藻類の好塩性機構の解明, (2) 好塩性微生物の好塩性機構の解明, (3) 好塩性海浜植物を用いて好塩性の園芸植物を開発する研究, (4) 塩による高品質作物の作出 <一般助成研究> 耐塩性植物・微生物の利用, 赤潮対策, 海洋沿岸の破壊防止。特に, 若手研究者の積極的な応募を期待。学生・研究生等は, 助成の対象外。

助成の期間: <プロジェクト研究> 平成 17 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日の 3 年間 <一般助成研究> 平成 17 年

4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日の 1 年間

助成の金額および件数: <プロジェクト研究> 1 件当たり年間 150 万円から 200 万円 <一般助成研究> 農学 A 区分 1 件程度, B 区分 5 件程度。(注) A 区分: 1 件当たり 100 万円から 200 万円規模の研究, B 区分: 1 件当たり 100 万円未満規模の研究

助成件数: 40-50 件程度

応募の方法: 申請書書式を財団のホームページからダウンロードまたは財団あて請求・入手のうえ応募申込

募集の時期: 平成 16 年 11 月 1 日～平成 17 年 1 月 10 日(申請書類必着)

応募の条件: 応募書類の提出は原本 1 部, 複写 4 部とする。採択助成の成果は原則として学術誌に謝辞を付して投稿する。2 回目以降の応募者については投稿実績が評価の対象になるので, 実績を作っておくように注意のこと。

申込先: 財団法人ソルト・サイエンス研究財団 〒106-0032 東京都港区六本木 7-15-14 塩業ビル 3 階, 電話: 03-3497-5711 FAX: 03-3497-5712 <http://www.saltscience.or.jp>

◇ (財) タカノ農芸化学研究助成財団 平成 17 年度研究助成対象者募集要領

農学, 特に農芸化学(生物資源等)に関する学術研究を助成。

- 研究課題: (1) 穀類並びに豆類の栽培・育種に関する研究, (2) 穀類並びに豆類の品質・成分並びに栄養生理等に関する研究, (3) 穀類並びに豆類の利用及び加工技術に関する研究, (4) 納豆菌等微生物の特性・生成酵素等に関する研究
- 研究助成対象者: (1) 大学及び短大の研究者(大学院生も含む), (2) 国立試験研究機関の研究者, (3) 公立試験研究機関の研究者, (4) その他本財団が適当と認めた研究者
- 助成金額: 一般研究者 1 件 100 万円を 7 件程度, 若手研究者 1 件 50 万円を 6 件程度(昭和 40 年 4 月 1 日以降に生まれた者)
- 交付時期: 平成 17 年 5 月予定
- 申請手続き方法: 当財団所定の申請用紙に必要事項を記入し, 平成 17 年 3 月 20 日(必着)までに送付。申請書用紙は, 郵送用切手(140 円)同封のうえ, 下記宛に請求。
- 申請書請求先及び送付先: 〒311-3411 茨城県東茨城郡小川町野田字大沼頭 1542 (財) タカノ農芸化学研究助成財団タカノフーズ(株)内財団事務局 TEL: 0299-58-4363 FAX: 0299-58-3847 ※平成 15 年度研究テーマ検索ホームページ <http://www.jfc.or.jp/search/guide.html>

各賞推薦の案内

◇ 第46回藤原賞受賞候補者の推薦依頼

このたび財団法人藤原科学財団より、第46回藤原賞受賞候補者の推薦依頼がありました。つきましては日本育種学会から候補者を推薦したいと存じますので、会員の皆様からの推薦をお願いいたします。推薦される方は、藤原科学財団ホームページ (<http://www.fujizai.or.jp>) から推薦要項書をダウンロードし、必要事項を記入して、下記送付先にお送り下さい。

推薦要項書送付先: 〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目
北海道大学大学院農学研究科 金澤章

電話: 011-706-3873, e-mail: kanazawa@res.agr.hokudai.ac.jp

締切日: 平成16年12月10日

談話会だより

◇ 北海道談話会

5回の例会とシンポジウム(隔年開催)を開催した(10/31現在)。

1. 日本育種学会・日本作物学会 北海道談話会例会
第229回

演者: 大西近江(京都大学大学院農学研究科)

演題: ソバの野生祖先種と栽培ソバの起原地

開催日: 平成16年2月12日

会場: 北海道大学農学部

第230回

演者: Odd Arne Rognli(ノルウェー農業大学)

演題: Comparative genomics of abiotic stress tolerance in meadow fescue (*Festuca pratensis* Huds.) (メドウフェスクの環境ストレス耐性に関する比較ゲノム)

開催日: 平成16年3月17日

会場: 北海道農業研究センター

本例会は、農業低温科学研究会との共催でおこなわれた。

第231回

演者: 柏木純一(国際半乾燥地熱帯農業研究所)

演題: ICRISATの研究状況およびチックピーにおける根形質の遺伝解析

開催日: 平成16年7月26日

会場: 北海道大学農学部

第232回

演者: 原田久也(千葉大学園芸学部)

演題: ダイズの開花期, タンパク質含量に関するQTL解析

開催日: 平成16年8月26日

会場: 北海道大学農学部

第233回

演者: Miloudi Nachit(国際乾燥地農業研究所)

演題: ICARDAにおけるマカロニコムギ育種の現状,

特にQTL解析を利用した選抜

開催日: 平成16年9月1日

会場: 北海道大学農学部

2. シンポジウム

開催日: 平成16年7月12日

会場: JAきたみらい北見支所

テーマ: 「穂発芽しない小麦を作る」

1) 基調講演

「北海道における穂発芽耐性育種の歩み」中央農試作物開発部長 天野洋一

2) パネルディスカッション(司会進行 北見農試作物研究部小麦科長 柳沢朗)

「低温穂発芽耐性小麦の育成」元上川農試場長(個人育種家) 長内俊一

「穂発芽性極難小麦の育成」北見農試作物研究部小麦科西村努

「穂発芽耐性のメカニズムについて」岡山大学資源生物科学研教授 野田和彦

本シンポジウムは、穂発芽研究会との合同シンポジウムとして開催した。

◇ 岩手育種談話会

第19回岩手育種談話会

平成16年10月1日 岩手大学農学部

「東北農業研究センターにおける最近のコムギの品質育種」 谷口義則((独)東北農業研究センター)

「岩手のナシの遺伝的多様性 — 遺伝資源の宝庫 岩手一」 片山寛則(神戸大学農学部附属食資源教育研究センター)

◇ 日本作物学会北陸支部・北陸育種談話会

第41回講演会・学会賞授賞式・受賞講演・シンポジウム

会場: JA 長野県ビル

会期: 平成16年7月22日(木)・23日(金)

総会: 7月22日(木) 13:00~13:30

北陸作物学会賞授賞式・講演: 7月22日(木) 13:30~14:30

半数体と利用したコムギ品種育成法の開発に関する研究(学術賞) 牛山智彦(長野県中信農業試験場)

富山県入善地域におけるコシヒカリ安定多収栽培指針の策定と普及(功労賞) 辰尻幸彦(富山県入善町農業共同組合)

シンポジウム「ソバ研究・栽培の魅力と問題点」: 7月22日(木) 14:30~17:00

栽培地域における子実成分の変異 井上直人(信州大学農学部食糧生産学科)

そば「とよむすめ」の育成とダッタンソバの紹介 伊藤誠治(独法中央農業研究センター北陸研究センター)

長野県におけるソバ栽培の現状と試験研究の取り組み

村山敏（長野県中信農業試験場）
ソバ作りにかけて 石川広之（長野県上水内郡信濃町仁之倉生産組合長）

総合討論

懇親会：7月22日（木）17：20～18：00

一般講演：7月23日（金）8：30～12：00（一般講演の詳細は学会ホームページに掲載予定。）

◇ 近畿作物育種研究会

近畿作物育種研究会第157回例会

日時：2004年7月31日

場所：京都府立大学

一般講演：

1. イオンビーム照射花粉を用いた交雑で得られたタバコ種間雑種 (*Nicotiana glauca* × *N. tabacum* L.) における染色体異常. 北海正貴, 西浜絢子, 小森園正彦, 高城啓一, 北村智, 井上雅好 (京都府大院農)
2. タバコ種間雑種 (*Nicotiana glauca* × *N. tabacum* L.) の交雑後代におけるジテルペン類の生成. 高木正志, 畑中一郎, 貝瀬由佳里, 井上雅好 (京都府大院農)
3. 沈水植物用栽培システムの開発. 高柳周, 長谷川博 (滋賀県立大環境)
4. 土壌水分がダイズの導管液中サイトカイニン量の推移と莢先熟発生に及ぼす影響. 佐藤順子¹, 坂下誠¹, 白岩立彦¹, 葭田隆治², 堀江武¹ (¹京大院農, ²富山県立大短大生物資源)
5. 殺菌剤を用いた大豆種子発芽試験法. 来田康男, 米谷正, 上川信行 (兵庫県立農技総セ)
6. 航空機リモセンによる水稻生育診断. 須藤健一¹, 大原源二², 吉田智一³, 高橋博英³, 寺元郁博³, ミシュラ K⁴, 笹川正⁴ (¹兵庫県立農技総セ, ²中央農総研, ³近中四農研, ⁴パスコ)
7. 中国内陸部都市近郊地域の農業システムの特徴と発展における問題—四川省攀枝花市仁和区を例として. 丸山明子¹, 稲村達也¹, 李貴利³, 朴雪梅³, 沈捷², 万継宏², 沈达達³, 向裕華², 井上博茂¹, 天野高久¹ (¹京大院農, ²攀枝花市科学技術局, ³攀枝花市農業科学研究所)
8. 有機入り肥効調節型肥料の施用がコシヒカリの生育, 収量および品質に及ぼす影響. 岩井正志, 小河拓也 (兵庫県立農技総セ)
9. 大気飽差と明記の長さの違いがイネ品種の葉身の気孔密度に及ぼす影響. 平井源一, 小倉聡¹, 西岡秀明¹, 奥村俊勝¹, 芦田馨¹, 稲村達也², 田中修³ (¹近畿大農, ²京大院農, ³甲南大理工)

10. 飽差が異なる条件下における日本晴(日本型水稻)とIR24号(インド型水稻)の生育比較. 平井源一, 山本尚明¹, 西岡秀明¹, 奥村俊勝¹, 稲村達也² (¹近畿大農, ²京大院農)

総会：平成15年度の事業報告, 平成16年度事業計画, ならびに, 平成16, 17年度役員について審議, 決定をした。

日本育種学会会員異動 (2004.7.21 ~ 2004.10.20)

◇ 普通会員入会：小野寺康之, 喜多洋一 (北海道), 長谷川義孝 (岩手), 佐藤秀樹 (秋田), 中場勝 (山形), 曲楽慶, 安藤杉尋, 熊谷亨, 田畑美奈子, Bubpa Chaitieng, 渡邊敦史 (茨城), 高原学, 戸栗敏博, 長谷暢一 (栃木), 夏正俊 (千葉), 杉山慶太 (三重), 藤田由美子 (広島)

◇ 学生会員入会：上床修弘, 桑原裕之, 紺谷学, 藤倉雄司 (北海道), 齋藤寛 (岩手), 川邊隆大, 品田智隆 (宮城), 手塚耕一 (秋田), 栗原誠 (山形), Syafaruddin, 赤坂夢, 加藤恵, 日下久美, 谷口美香, 東野悟, Prakit Somta, 宮崎沙頼 (茨城), 松澤健一 (栃木), 佐藤宏行, 柴智徳 (千葉), Budi Setiadi Daryono, 鶴川康昭, 大西孝幸, 木藤一詩, 佐藤かんな, 中野仁美, 正木俊平, 渡辺亮介 (東京), 櫛橋勇介 (神奈川), 石塚大悟, 井本朋美, 奥野聖, 工藤貴寛, 白土典広, 横山次郎 (新潟), 服部洋子 (愛知), 内山美奈, 平嶋奈津子, 安井翔 (三重), 西塚順子, 原正生, 安本景太 (京都), 緒方大輔 (大阪), 石丸彰子, 山下晃弘 (兵庫), 伊藤幸, 大釜真一, 水上仁 (鳥取), 大江夏子, 山下裕樹 (岡山), 常彩涛, 徳原彩香 (愛媛), 上田悠加, 田崎三香子, 徳永貴司 (福岡), 小宮山公, 古富史朗 (熊本), 川原大輔, 杉田祐紀, 竹田修一, 友岡純一 (鹿児島)

◇ 団体会員入会：(株) トーメン食糧砂糖部米麦課 (東京)

◇ 外国会員入会：Azhaguel Permal, TOTAL LIBRARY SOLUTIONS, PTV. LTD. (INDIA)

住所変更等

◇ 普通会員：池谷祐幸, Paulino Laude Sanchez, 西村繁夫 (茨城), 西晃生 (栃木), 近藤浩一, 武村敏彦 (埼玉), 鈴木栄 (東京), 野村和成 (神奈川), 久保亜希子 (静岡), 杉浦直樹 (愛知), 谷川毅, 常脇恒一郎 (兵庫), 落合利紀 (広島), 荒巻功 (福岡), 松岡誠 (鹿児島)

◇ 学生会員：庄司理恵 (北海道), 耳田直純 (岩手), 寿崎拓哉 (東京), 武藤千秋 (京都)

◇ 団体会員：道立根釧農業試験場 (北海道), (株) トーハン海外営業課 (東京), 京都大学農学部図書室 (旧育種学研究室分) (京都)